



## 2015年度 関西国際空港航空機海上事故対策訓練の実施

関西国際空港では、空港周辺の海上で航空機事故が発生した場合に備え、関係機関と協力し乗員乗客の救助や、負傷者の救護および病院への搬送訓練を下記のとおり行います。

### 記

- 実施日時 2015年7月22日(水) 13:30~15:30
- 実施場所 関西国際空港北東側海域および泉佐野港
- 主催 関西国際空港緊急計画連絡協議会
- 参加機関等
  - ・ 参加機関 : 第五管区海上保安本部、関西空港海上保安航空基地、神戸海上保安部、高知海上保安部、堺海上保安署、岸和田海上保安署、大阪航空局関西空港事務所、大阪府警察本部、大阪水上警察署、関西空港警察署、泉佐野警察署、泉州南広域消防本部、大阪市消防局、堺市消防局、泉州救命救急センター、近畿大学医学部附属関西国際空港クリニック、日本航空株式会社、西日本電信電話株式会社、大阪府漁業協同組合連合会、大阪府水難救済会、新関西国際空港株式会社、関西国際空港セキュリティ株式会社 (以上22機関)
  - ・ 人員 : 約300名
  - ・ 船艇および航空機 : 船艇13隻、航空機2機(海上保安庁ヘリコプター、大阪市消防局ヘリコプター)
  - ・ 車両 : 8台(泉州南広域消防本部救急車2台、空港大型救急車1台、タンク車1台、水難救助災害支援車1台、泉州救命救急センターDMATカー1台、新関西国際空港(株)救護車2台)
- 目的
  - ・ 空港周辺海上で航空機事故が発生した場合に備え、関係機関と緊密な連携と協力による、迅速かつ適切な救難および災害医療活動を実施し、官民、海陸が一体となった救助体制の強化を図る。

〔ヘリコプターによる救助活動、および現場海域の上空監視など、ヘリコプターを活用した効果的な支援活動の検証を行う。〕
- 訓練内容
  - ・ 海上部分(関西国際空港北東側海域)
    - ア) 海面漂流者9名に対する船艇救助および海上保安庁所属ヘリコプターによる吊上げ救助
    - イ) 当該航空機(事故機想定 巡視船とさ)に対する消火訓練 ※船艇放水
    - ウ) 海上保安庁ヘリコプターによる現場海域の上空監視、ならびに現地調整本部(海上事故対策現場連絡所)へのヘリテレ映像の伝送
  - ・ 海上部分(泉佐野港湾内)
    - ア) 脱出用シューター(救命筏)の避難者15名に対する船艇救助
    - イ) 大阪市消防局ヘリコプターによる現場海域の上空監視、ならびに現地調整本部(海上事故対策現場連絡所)へのヘリテレ映像の伝送
  - ・ 陸上部分(泉佐野港)
    - ア) 現地調整本部(海上事故対策現場連絡所)の設置、運用訓練  
(ヘリテレ映像による現場海域状況の掌握および各機関所属船艇への活動指揮)
    - イ) 島外救護所および搬送指揮所の設置、運用訓練  
(医療者による医療活動、救急搬送を含む)



